

早春絵手紙教室



去る2月27日(日)に、徳成寺において寺ともサービスデー「早春絵手紙教室」が行われました。

早春と呼ぶにふさわしく、当日は厳しい寒さが少しやわらいで、過ごしやすい日になりました。

本堂を会場にして、いつもの通り検温・換気・アルコール消毒などの対策を施した上に、参加者同士の距離を十分取りながら、少人数で「絵手紙教室」を実施できました。

出来上がった作品を手にして撮影した、先生を囲んでの集合写真も、皆さんとっても誇らしいような充実感が漂っていました。

まずは、各々絵手紙を描く前にウォーミングアップをします。縦線・横線・曲線を太字や細字あるいはカスレ文字などを練習してみます。

現代人の私たちはパソコンやメールの文字に慣れ過ぎていて、味わいのある線を描くのも一苦労です。

絵手紙のコツは「絵は大きく、色は元気に、字は読める字にする」と教わりました。それをいざ実践するとなると、思ったようにいかないのが面白いところです。



左の写真は、この日の題材の数々です。ほうれん草・甘夏・バナナ・ピーマン・カボチャ・玉ねぎ・水仙です。参加者の方から、菜の花や桃の枝などをご持参いただきました。

題材選びも、バナナや甘夏のように単調なものを描くのが実は難しいとも教わりました。単調なだけに、誤魔化しがきかないのです。複雑な題材が却って描き易いそうです。

出来た作品を額縁に入れて、恒例の先生からの講評タイムです。「各人のパワーがあふれて、とっても楽しい作品ばかり」とお褒めの言葉を頂きました。また実物の題材よりも新鮮に描けた方、心を込めて描いたのが伝わって来た方など個性豊かな作品が出来上がり素敵な一日になりました。

